



2021 日本のうたごえ祭典 in ひろしま

企画ニュース④

発行 2021.8.15
祭典企画委員会

リナツシェロ リナツシェライ

12月の祭典の音楽会は、「ピースウェーブコンサート」から始まります。そのオープニングでコロナ禍からの解放と復活を願って高らかに歌われるのは、「リナツシェロ リナツシェライ」です。

この歌の日本語詞を書いた緒方一夫さん（広島合唱団・男声合唱団ドンマイ）から、この歌との出会いやいきさつを教えてくださいました。

昨年4月末、国内でも拡大し始めたコロナ禍のもと、あらゆる文化活動が中止や延期になり、うたごえ祭典も延期決定を余儀なくされた頃、娘からこの曲のYouTube公式動画と以下のようなネット情報を紹介されました。

『今世界中に拡散されている歌がある。ユーチューブを通じて世界中900万人の人たちが聞いている。「Rinascero, rinascerei」(私は生まれ変わる あなたも生まれ変わる)。新型コロナウイルス感染禍で一番多くの死者を出しているイタリア北部ベルガモ出身の作曲家兼歌手、ロビー・ファチネッチさんの歌声だ。

映像には美しい街の朝明け、夕焼けが映し出され、そこで新型コロナウイルスと戦う医師や看護師や老若男女がほほ笑みながら大きめのカードを手をしている。「Rinascero, rinascerei」と書かれている。ファチネッチさんはこのふた言を何度も何度も繰り返しながら、こう続ける。

「すべてが終われば また空に星が輝く。その星を見るために 私たちは戦う」「嵐が私たちを打ちのめし 屈服させようとしても わたしたちは絶対に壊れはしない」「宿命(さだめ)をはねのけるために 私たちは生まれてきたのだから。そしていつも打ち勝ってきたのだから」

イタリアでの死者数は1万5千人を超えた。パンデミックの中心、ベルガモ市では多い時は一日800人以上が死んでいる。市内の火葬場だけでは間に合わず、遺体の多くが近隣の町の火葬場に運ばれている。それでも映像ではベルガモの人たちは笑顔で私たちにメッセージを送っている。

「私たちは頑張っている。あなたたちも頑張つてね」と。

すべての著作権料はベルガモの病院へ寄付される。』

写真解説（寄付を寄せられたベルガモの病院の壁面に描かれた謝辞のデザイン画。医療従事者がイタリア半島を抱きしめている。掲げられたメッセージは「あなたがた全てに…ありがとう！」）



さっそく、繋がったばかりの広島合唱団のグループ LINE に YouTube 公式動画を紹介すると、「イタリアでこんな酷いことになっているとは…」「諦めず励まし合い発信する姿に感動!」「いい歌ですね! 私達も歌いたい!」という反応が返ってきました。そこで、まずは耳コピーで採譜(歌詞はイタリア語のまま)し、家族と話し合いながら日本語詞を完成させました。その後、たかだりゅうじ氏が合唱編曲、ネットから探し出したピアノ伴奏を参考にして伴奏譜を追加し、広島合唱団のレッスン再開と共に歌い始めました。レッスン再開をこの歌で始められたことは、私達自身の「あきらめない」「コロナからの復活」の気持ちと重なり、ぴったりでした。

演奏に際しては、動画を真似て、団員各自で「RINASCERO RINASCERA!」の手作りカードを作って歌の最後に掲げることにしました。そして、8月6日の原水爆禁止世界大会文化企画(録画)、11月の「♪みんな元気ががんばろうフェスタ 2020」等でも演奏し、オンラインで全国に発信することができました。

後で知ったことですが、ちょうどその頃、この歌を作詞した Stefano D' Orazio 氏が新型コロナにて死去されていたことは、本当に残念なことでした。彼の思いを引き継いでこれからも歌い広げたいと思います。

本番指揮者 渡辺享則さんからの 歌い方アドバイス

意味:私は生まれ変わるだろう、あなたは生まれ変わるだろう

歌い方:

① 基本的に、上段・女声、下段・男声、で歌います。(以下、祭典歌集ページで)

② P14、上段女声オブリガードは上音ソプラノ、下音アルト。下段男声(主旋律)

P15、1 段目は同上。

2 段目、1 番は上段男声オブリ、上から T1、T2、B。下段女声(主旋律)

同じく、2 番は上段女声オブリ、上から S1、S2、A。下段男声(主旋律)

3 段目は上段女声(S、A)、下段(T、B)

P16、基本形でうたう

2 段目、1 番は 4 小節目から A、B が主旋律を後奏、

2 番は 3 段目 3 小節に to Coda。(全音符分をクレッシェンド)

P16、3 小節目から P17 は譜面どおりにリピート(2 小節目の全音符も同上)。

③ この曲は、イタリアのベルガモという都市が新型コロナウイルスに町全体が冒され、医療崩壊が起きたが、その医療従事者、市民病院、そして町の人々を励まし、資金支援の一助としよう、と作曲、歌われ全世界に広がった。歌詞の「すべてが終わったら」とは、コロナ禍に対して、新しく生まれ変わろう、と願いが込められている。ちなみに、この作詞者も、コロナ禍で亡くなっている。したがって、歌い始めの P14 は切実感を込めて、そして P15からは「みんなで進もう」と前進的に歌いたい。P17、エンディングはクレッシェンドで歌いきりたい。